

11 ICT活用スキル育成を図る業間の取組

水上村立岩野小学校の実践

「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力を育成するためには、児童のICT活用スキルが必須である。そこで、週1回、業間を「ICTタイム」として位置付け、高学年が低学年へサポートするスタイルも交えながら、ICT活用スキル習得を行っている。この時間でICT活用スキルを習得することで、教科等での効果的なICT活用につながっている。



「ICTタイム」の時間に、低学年の児童がICT端末を使い、撮影したり、ファイルへの書き込みをしたりする際、高学年の児童が先生役として、サポートするようにしています。

低学年の児童にとっては、高学年のお兄ちゃん、お姉ちゃんに教えてもらえるという安心感をもって活動することができるので、確実なICT活用スキル習得につながっています。

また、高学年の児童にとっても、自分のスキルを確認することができ、低学年、高学年ともにICT活用スキルが向上しています。